

第12回 関西ミニ・ラグビーチャンピオン交流大会 参加上の注意

駐車場は、「第4」・「第3」・「多目的」を利用して下さい。

- ・平成27年度（公財）日本ラグビーフットボール協会制定ミニ・ラグビーの競技規則高学年用にて行います。
- ・各チームはレフリーを1名準備してください。（**試合日程表のレフリーの欄を必ず確認して下さい**）
- ・該当ゲームのタッチジャッジ1名を準備してください。（**チームのフラッグを持参して下さい**）
- ・該当ゲームのセーフティーアシスタント担当1名を準備してください。（**選手不可**）

（協会用意の指定ビブスを着用すること）

- ・ドレスチェックは、前のゲームの開始前時に「大会本部付近」にておこないます。
（**ヘッドギア持参。第1試合目のチームはゲーム開始15分前**）
※ 安全対策上、マウスガードの着用を推奨する。
- ・選手・チームスタッフ共、スパイク着用でないとグラウンド内に入ることが出来ません。
- ・当日のチーム受付は代表者がおこなってください。
- ・試合時間は11分ハーフで行ないます。
- ・選手入れ替えについては、必ず競技役員に申し入れ、レフリーの指示に従いフィールド内に入ること。
- ・出血がともなわなくてもドクターの治療を要する場合は、一時交代を認めます。
- ・シンビンでの一時退場は3分間とします。
- ・貴重品の管理は、各チームでお願いします。
- ・グラウンド内は、大会事務局発行の**IDカードを着用した引率者5名**（引率者3名、SA1名、TJ1名）のみ入場可とする。
- ・**チームで出されたゴミは、各チーム責任をもってお持ち帰り下さい。**
- ・**サッカー場クラブハウスの使用は出来ませんので徹底をお願いします。（クラブハウス内のトイレも使用禁止です）**
- ・会場内立ち入りの制限（**チーム関係者・保護者の方へ徹底をお願いします。**）
多目的広場内は、スパイク並びに運動靴のみ立ち入り可能とする。※野球グラウンド内は一切立ち入り禁止。
（ハイヒール・サンダル等での立ち入りは禁止します。） ※雨天の場合は長靴の使用可
- ・試合中、選手に脳振盪の疑いがあった場合は、ドクター並びに大会本部がプレー続投の不可を判断する。
（詳細は2017.7 日本協会通達を参考にしてください。）
- ・会場（多目的広場）内の飲食は禁止しております。芝生内、選手の水分補給は「水」のみ可能です。
- ・参加費（1チーム3,000円）は、お釣りの無いようにご準備下さい。

以上

脳振盪が疑われる場合は（通達）

2017.7.08（土）

JRFU JRFU ルール

脳振盪が疑われた場合に注意すべきこと

初めの24時間までと、さらに48時間までで問題が起こりうるので、受傷した選手はその日一人にしないこと。次の症状があればすぐに病院に連れて行く。

頭痛が強くなる。

眠気が強くなる、目覚めた状態でいられなくなる。

周りにいる人や自分が今いる場所がわからなくなる。

嘔吐を繰り返す。

いつもと違う、混乱している、イライラしている様子がみられる。

痙攣が起こる。

手足に力が入りにくくなる。

しっかり立てなくなる。話す言葉が不明瞭になる。

首の痛みが続く、または増してくる。（特に小学生の場合）

プレーへの復帰

脳振盪ガイドラインの段階的復帰プロトコール（GRTP）に従ってください。

その他の注意点として、

- 飲酒は禁止。（症状が改善するまで禁止）
- 医学的に必要とされている以外の薬は飲まないこと
- 特に、睡眠薬は禁止。（意識障害と区別しにくくなるため）
- アスピリン、痛み止めなども使用しないこと。（出血を悪化させる事があるため）
- 運転はしないこと。（運転は医師の許可を受けてから）

小学生の場合の注意点

小学生は低学年ほど自分の病態を示すことができずに、対応が後手に回ることがあります。練習後も普段と比べてなにか気になることがあるようならば病院の受診をためらわない事が重要です。

- コンピューターゲーム、インターネットゲーム、その他のテレビゲームなどは症状が悪化したらやらないようにすること。
- 診察した医師が処方した薬以外は、例えば痛み止めでも親の勝手な判断で薬を飲ませないこと。
- 受傷後少なくとも24時間は休息をとる様にしますが、学校で勉強に集中できないようなら1-2日は休んで様子を見ることも理にかなっています。但しこれ以上長引くとすると普通ではありません。

（以上 SCAT3、child SCAT3 より）